

2020年度 事業報告書

2020.4.1 → 2021.3.31



認定NPO法人 宝塚NPOセンター

2020年度の事業を

無事に終えることができました。

様々な場面で、支えていただきました

皆様に感謝いたします。

今期は、現在も収束する兆しが見えないコロナウイルスにより翻弄され続ける日々でしたが、置かれた状況の中で力を発揮した1年となりました。

特に就労部門は、これまでの状況と一転し人材を募集する企業が減少、一方、派遣先から解雇される方や自営業を辞められる方など求職者が増加する状況からのスタートでした。

中間支援部門では、地域コミュニティのイベントや集まりが開催できなくなり交流の場の減少をどのように食い止めるかを突き付けられました。

まだコロナウイルスの正体ははっきりとせず不安だけが先走る5月、10年以上継続していた『若者就労支援事業』が対面型セミナーという理由で廃止されました。そのまま廃止を受け入れるか自主事業として企画を行うか選択を迫られました。

私たちが出した答えは「自主事業として実施。資金はクラウドファンディングで集める。」団体として初めての挑戦となりました。

全国の皆さんから多くのご支援をいただき、私たちが大切にしているお互いに学びあう対面型セミナーを実現できました。以前の私たちでしたら、そのチャレンジはしなかったでしょう。何か新しいことにチャレンジする時に頭に浮かぶ『損と得』。何もチャレンジをしなければ損がないと考え二の足を踏むのが常でした。

理事長に就任し、2年で組織が変化したことは、私にとっては大きな喜びでした。

変化を恐れず、常に新しいことに挑戦しなければ目の前に『約束された沈没』があること、新しい挑戦から得る学びとその成果の大きさを胸に刻み、2021年度は地域のにぎわいとチャレンジする場づくりのためにシェアカフェ事業に挑戦します。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



なかやま みつこ
理事長 中山 光子

数字で振り返る 宝塚NPOセンター 2020年度の活動



1年間の相談件数

4,547件

運営相談

1,048件

起業相談

357件

就労相談

3,142件

2020年度に受けた相談件数を合計すると、4,547件に上ります。

1年間を通じて、たくさんの相談をいただきました。



雇用創出数

429人

2020年度は429人の
雇用を生み出しました。



ボランティア数

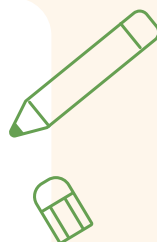
54人

54人のボランティアの皆さんに、
私たちの活動をサポートしていただきました。

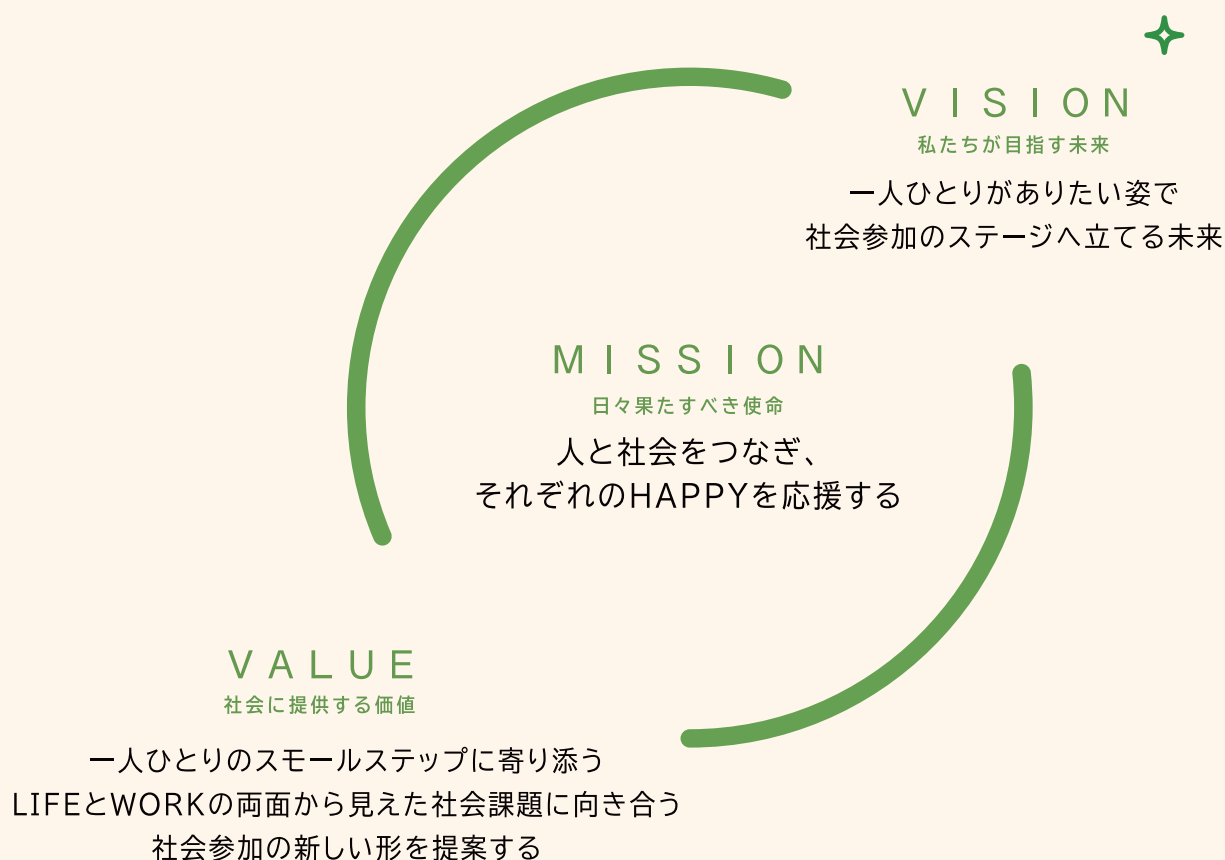
講座開催回数

236講座

複数の事業で開催した講座は、合計で236回。
多くの方にご参加いただきました。



わたしたちの理念



2019年度にプロジェクトを立ち上げ、職員全員でつくったビジョン・ミッション・バリュー。

明確になった『実現したい未来像』を胸に、日々の行動のひとつひとつが、私たちが掲げている社会的使命を果たしているか？その姿勢を皆さんに伝えられているか？を問いながら、事業に挑んだ2020年でした。

取り組み報告 もくじ

特 集 クラウドファンディングでつなげた就労支援

05

若者就労支援事業

若者の就労支援のためクラウドファンディングにチャレンジ

そこから新たなつながりが生まれました

私たちの取り組みのご報告

1. 協働の場づくり

07

市民活動促進支援事業／ひょうごアドプト推進業務／きずなの家事業

2. 人と組織づくり

09

生きがいしごとサポートセンター事業／コミュニティビジネス I C T活用促進事業

3. 仕事を通じた社会参加づくり

11

地域若者サポートステーション事業／就労準備支援事業及び自立相談支援事業〔就労支援〕

学生向けキャリア事業／若年者就労サポート事業

4. 市民ネットワークづくり

14

決算などのご報告

2020年度 貸借対照表／活動計算書／2021年度 活動予算書／

2021年度 特定非営利活動に係る事業計画／2020年度 支えてくださった皆さん／

ボランティア／職員／役員一覧

15

支援者インタビュー



成福院 今井さん

宝塚市にある真言宗大覚寺派成福院は平林寺の塔頭寺院として建立されている由緒ある寺院。

終活、写経、グリーフケアに力を入れておられます。

クラウドファンディングでもご支援をいただき、さらに職場体験の受け入れ先としてお世話になりました。2021年度はシェアカフェにて毎月1回写経会を開催されています。

就労体験の受け入れエピソード

クラウドファンディングに協力したきっかけは、宝塚NPOセンターのfacebookで今回のことを知りました。私が終活カウンセラーとして子どもの事に関する悩みを多く聞き、8050問題や引きこもりについての問題意識を持っていたことから、応援しようと思いました。

毎年春・秋にお寺の落ち葉の清掃をしていましたが、コロナ禍で老人クラブや婦人会の方が参加できず人手不足で困っておりました。宝塚NPOセンターの職員さんから職場体験先にどうかと提案していただいていたことを思い出し、清掃をお願いすることになりました。

職場体験当日は、いつも清掃を管理・担当していただいている総代さんと一緒に行ってもらいました。「若者に積極的に声をかけてほしい」と頼まれた総代さんたちは、グループに分かれ、年齢的にほとんど接点のない孫世代の参加者にほうきの使い方などを伝え、和やかな雰囲気でお互いが楽しそうに取り組まれていました。

若者たちは素直で真面目。お話が苦手そうな若者

も、話しかけるとちゃんと答えてくれました。また前向きに挑戦したいという気持ちが伝わり、それに応えたいという思いで総代さんもととても張り切っておられました。

人とかかわりが難しい今、今回のように高齢者と若者の触れ合いはお互いが刺激し合う、良い機会だと思います。以前なら優しく愛情をもって人を育てる事は地域で当たり前に行われていましたが、最近は減りました。もっと今回のような機会を増やし、互いに自分の居場所をみつけることができたら素晴らしいと思います。社会に出ていくことに不安を感じている若者の小さな一歩をこれからも応援していきたいです。

今回の機会で、地域の受け入れの大切さを改めて感じました。



人と話すのが苦手だった女性が『HAPPYジョブトレーニング』に参加することで得たもの

Bさんは20代女性。大学を卒業後、印刷会社に就職し、新型コロナウイルス感染症の影響で離職。

現在は、『HAPPYジョブトレーニング』のボランティア受入先でアルバイトとして就労中。

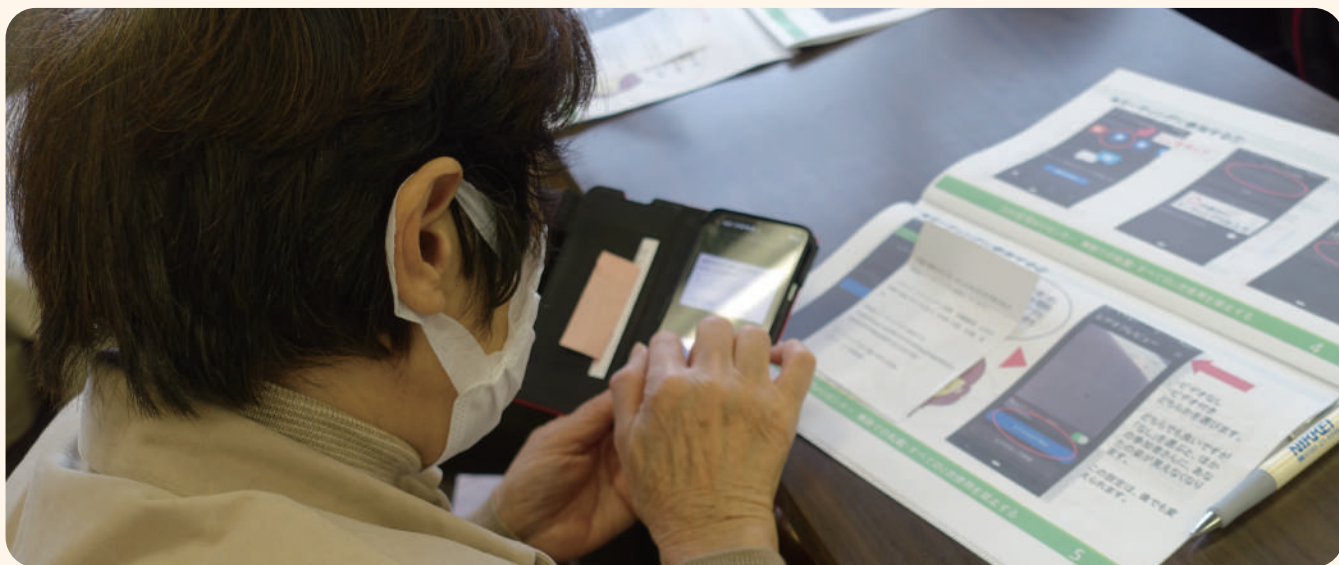
参加者Bさんの声

「とりあえずやるしかない」がきっかけ

参加したのは、相談員の方に声をかけられたのがきっかけ。ちょうど職業訓練に参加しようか悩んでいたところでした。いろいろな職場で体験することもでき、そこで自分は何が向いているのかを知りたいと思いました。「これなら私でもできるかもしれない!」「このチャンスを逃したら次はない」それくらいの強い思いでした。

いろいろな体験ができたことで自分の得意なことや苦手なことがわかった

様々なことに挑戦したいと思い、職場体験には積極的に参加しました。セラドン販売会では、苦手だと思っていた接客も意外とできましたし、成福院の清掃体験では、改めて黙々という作業が自分に向いているということがわかりました。



多様なカタチで誰もが関われる地域づくり

宝塚市で市民活動をしたい方々が、最初の一步を踏み出し継続していくための支援と、誰もがまちのことを考え参加できる環境づくりを行います。

対 象

宝塚市民

取り組み理由

ここ数年来の地域活動は、女性の社会進出や定年延長などの社会変化を受け、これまで活動を支えていた層が参加しにくくなっています。何もしなければ、担い手が不足し、地域を支える活動が立ち行かなくなりかねません。新型コロナウイルス感染症が与える影響も大きく、交流機会の喪失や地域活動の停滞が起きています。一方で、その状況に危機感を持ち、新しい参加の仕方や活動のカタチを模索しチャレンジする人・団体や、自らの生活の中から『やりたいこと』を見出し、活動を始める人もいます。私たち宝塚 NPO センターは、変化し進もうとする人や活動に寄り添い応援し、これまで以上に活発で持続可能なまちづくりにつながるよう取り組んでいます。

今年度の成果

新型コロナウイルス感染症による『会えない』状況に対応した、オンライン会議システム活用の推進に取り組みました。NPO 法人、自治会ほか多様な団体から相談が寄せられ、ホームホスピス事業でのオンライン面会の実現、サロン活動団体同士のオンライン会議参加など、リアルで制限されたつながりをオンラインで結ぶことができました。会場とオンラインの両方で参加できるセミナー企画など、新たな参加につながる計画が動き出すきっかけになりました。

関わる人を増やすため、『宝塚市みんなのまちづくり協議会ポータルサイト』の充実に取り組みました。20 のまちづくり協議会が今後 10 年を見据え作成した『まちづくり計画』掲載ページを作成。まちづくり情報の発信拠点となるよう進めました。

講座では『誰もが関われる組織づくり』『話し合いの進め方』をテーマに、新たな担い手が関わりやすい組織づくりに活かせるよう開催しました。【担当：馬越】

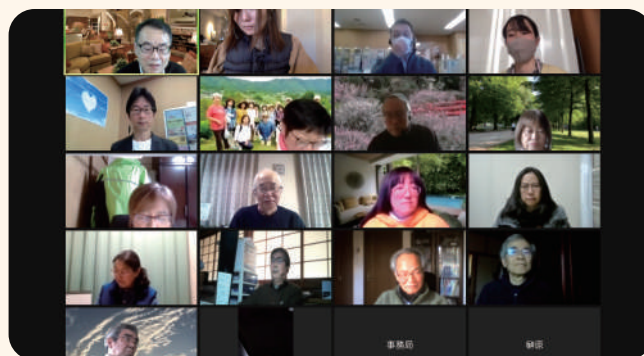
数字で見る今年度の成果

NPO 法人設立・
コミュニティビジネス起業者数 **7** 団体・人

講座参加者数 **126** 人

まちづくり協議会
ポータルサイト記事
1 件あたりの閲覧数 **34** % 増

(2020 年度 360 アクセス/件 2019 年度 268 アクセス/件)



ICT 活用に取り組む市民活動団体から事例を聞きました



一緒にやりたくなるコツを考えることで、活動を振り返るきっかけにも



まちづくり協議会ポータルサイトの充実に取り組みました

地域の自然と景観を愛情をもって守っていく

ひょうごアドプト・プログラムを活用し、地域の景観醸成に取り組む人を増やします。

取り組む理由

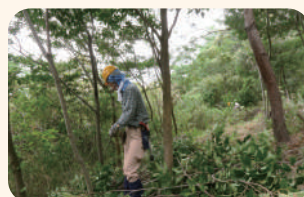
ひょうごアドプトは、地域の住民が主体となり、県が管理する道路・河川・里山などの活動区域を『養子』に見立て、清掃美化、草刈り、植栽などを行う制度です。兵庫県阪神北地域において、公共空間を自らの意思で管理する人を増やし、地域への愛着心を深めるとともに、快適な生活環境の創出に取り組む制度です。参加団体が安全かつ快適に活動するための講習や資材提供を行い、制度の啓発を実施しました。

今年度の成果

阪神北地域では 41 団体がアドプト活動に参加しました。取り扱いに注意が必要な『刈払機安全講習会』を実施。多数の参加があり、事故のない活動のために学ぶことができました。春・秋には花苗や用具などの活動資材の提供や団体訪問を行いながら、課題ややりがいを感じ取り、意欲を持って円滑なボランティア活動に取り組めるよう支援しました。【担当：九鬼】

数字で見る今年度の成果

活動団体数 **41** 団体
参加者数 **1,434** 人



里山での活動の様子



刈払機の安全な使い方を学ぶ

人とつながる、まちとつながる

宝塚市のきずなの家事業で運営している『きずなの家KaRuTa』
ここに来れば、誰かに会える、誰かと話せる。みんなのリビングです。

取り組む理由

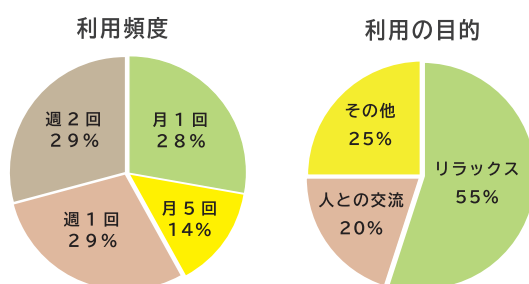
宝塚駅前のこの地区は、生活するには便利なものの、気軽に集える場所がなかなかありません。住み慣れたコミュニティから移り住んでこられた方やシニアの方たちの集いの場、出かける場として『きずなの家KaRuTa』を運営しました。

今年度の成果

2020 年度はコロナ禍の影響で『集う場所』としてのきずなの家 KaRuTa は『お休みする』という選択をしなくてはならない日々が長く続きました。緊急事態宣言後にはシニアボランティアの方々が衛生勉強会を開くなど、安心してくつろげる場であるよう知恵を出し合い再開することができました。イベントや集まることが難しい中での運営でしたが、ふらりと顔を出してくださる方のくつろぎの居場所としてここにあり続けました。

2015年秋から続けてきたきずなの家 KaRuTa は 2020年度をもって終了し、まちのにぎわいづくりと起業支援に取り組む『シェアカフェ』として生まれ変わります。【担当：中嶋】

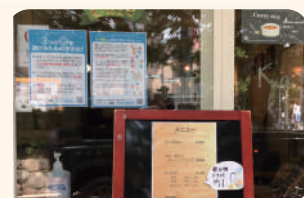
数字で見る今年度の成果



宝塚市きずなの家アンケートによる
(実施期間 2020 年 11 月 1 日から 11 月 30 日)



うたごえ広場の風景



感染症対策を行い再開したKaRuTa



自分が望む社会との関わりかたを実現する

起業する、就職する、ボランティア活動をする。自らが望む社会との関わりかたを考え、実現するサポートを行いました。

対 象

兵庫県民

Q 取り組み理由

人口減少、ICTやAIといった技術革新、人生100年時代といった環境変化が急速に進む中、働きかたや雇用の形態にも変化が訪れています。一人ひとりが自らの望むように働き、社会においてその能力を発揮することができるように、また自らが主役となるキャリア形成を行えるようにするために、多様で柔軟な働きかたが選択肢として確立されることが大切です。年齢や性別が障壁とならず、『起業』『就職』『兼業・副業』、コロナ禍で進んだ『テレワーク』を含めた多様で柔軟な働きかたや、活動の仕方を、一人ひとりが自由に選択できる社会づくりが求められています。

今年度の成果

女性向け、シニア向け、それぞれの起業セミナーを開催。ライフステージや経験から見てきた『やりたいこと』を洗い出し、起業に結びつけるステップを支援しました。『シニア向け合同就職説明会』では、シニアのパワーを求める多様な企業が出展し、参加者は熱心にブースを回り担当者の説明を聞きました。団体設立支援を行い、15団体が設立、1団体が拡充となった一方で、NPO法の施行から20年が経ち、一定の役割を終えた団体が次の段階へ進めるよう、『NPOの解散講座』を開催。単に活動を終えてしまうのではなく、新たな形態で必要な活動を行えるようサポートしました。新型コロナウイルス感染症の影響で急速に必要なオンラインシステムやセキュリティに対するIT講座を、阪神・但馬両地域で実施しました。就労については、企業側も多様なニーズを踏まえた求人が増えているため、高齢者や女性、すきま時間での勤務など、柔軟に社会参加できるよう支援しました。
【担当：九鬼】

数字で見る今年度の成果

NPO法人設立・
コミュニティビジネス起業家数 **15** 団体・人

講座参加者数 **120** 人

雇用創出数（生きがい
しごとサポートセンター） **106** 人

起業相談	運営相談
234 件	551 件



シニア向け合同就職説明会
多様な企業ブースが出展



インターンシップ制度を利用し
団体運営のノウハウを学ぶ



これからの活動にオンラインを取り入れよう

コロナ禍の今、なかなか市民活動や地域活動で会議や話し合いもままならない団体や個人の方が多い中、オンライン会議システムを使った新しい形のコミュニケーションの活用を広げます。

取り組み理由

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症が市民活動にも大きく影響し、緊急事態宣言や自粛の中、集会や会議などで皆が集まりづらくなり、活動が停滞しかねない状況に見舞われました。その打開のためには、従来の形のほかに、新しい活動の方法を取り入れる必要があり、その一つがオンライン会議システムに代表される ICT の活用です。ICT 活用は従来とは違う新しい形のつながりを生みます。活動の継続性以外にも、従来は活動に参加しにくかった高齢者や障がい者、小さな子どもがいる方などが、地域活動に参加できるきっかけになることから、導入を推し進めています。

今年度の成果

地縁団体や NPO 法人など様々な方から、オンライン会議システムの導入を中心に相談が寄せられました。相談では「直接教わりたい」との希望が多く、三密に注意しながら、対面による講習会となりました。全体的に高齢者の方が多く、スマートフォンやパソコンの基本の操作が不慣れで、つまづいてしまう場合もありましたが、一人ひとりに合わせて理解しながら進められるよう説明し、オンライン会議システムを学んでいただきました。

参加後には電話やメールで質問があり、それぞれの活動で活用していただいています。個人的に申し込んだ方が、ご自身の仲間を紹介してくださり、口コミで参加する方もいるなど、オンライン会議システム活用の広がりを作ることができました。

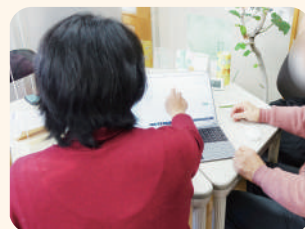
オンライン会議システムの理解が進み、「主催できるようにになりたい」と意欲的に次のステップに進む方もおられ、ホスト向け講習を開催し自主的な活用につながるようにも取り組みました。【担当：平岩】

数字で見る今年度の成果

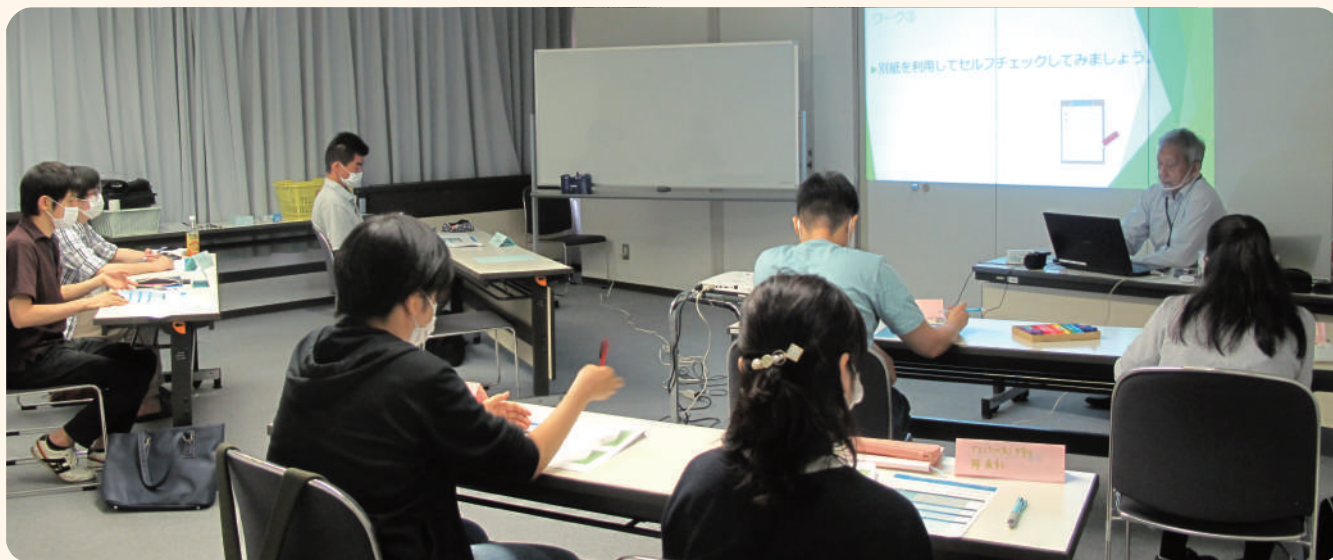
講座参加者数	159人
入門編	91人
ホスト講座	47人
もっとホスト講座	21人
講座開催団体	20団体
講座開催自治体・コミュニティ	10団体



ご自身のスマートフォンなどを
用いて熱心に練習されていました



理解しやすいように指差し
なども交えながら説明しました



若者の「働きたい」を応援します

一人ひとりの段階に応じて就労に対する多様なサポートを提供できるよう、行政や、地域の方々と協働し、理解者・協力者を増やしなが、仕事に就けるように就労支援を実施しました。

対 象

地域を問わず
就労を目指す
15～49歳の方

取り組み理由

新型コロナウイルス感染症の影響で雇用状況が急速に悪化し、失業者や生活困窮者の増加、求人数の著しい減少、テレワークなどによる働き方の変化、外出自粛による引きこもりの長期化、就職氷河期世代の不安定な就労など、様々な課題があげられます。こうした中、働きたいのに様々な理由で働けていない若者の就労を支援することは、課題解決への一助となり、就労することで自立の可能性を広げ、社会とのつながりを持ち、充実した生活を送るための取り組みです。



外部連携強化のために作成したZUKASAPO TAG!!

今年度の成果

就職氷河期世代支援のため39歳から49歳へ対象年齢が引き上げられました。新型コロナウイルスの影響により、支援内容が限られ、対面での面談以外に面接練習、会社説明会をオンラインで実施しました。より多くの方に情報が届くよう、公式LINEを導入、広報漫画を作成しSNSで発信しました。新しい働き方として『内職体験』をシニアの方と交流しながら実施しました。

職場体験や、協力企業との取り組みを理解していただけるよう、『ZUKASAPO TAG!!』を作成。近隣企業との連携強化にもつながり、新たな職場体験先を増やすことができました。職場体験時にはスタッフも同行し、得意を活かした働き方ができるよう利用者の良さを知ることにも努めました。実際に、職場体験で細かい作業が得意である利用者にスタッフが気づき、声をかけたことが自信となり、それが就職につながった、という事例もありました。

今後も、利用者のスモールステップに寄り添い、一人ひとりがありがたい姿で社会参加のステージに立てよう応援していきます。【担当：藤田】

数字で見る今年度の成果

新規登録者数

122人

就職決定者数

97人

講座開催回数と参加者数

91回のべ 240人



内職体験で黙々と作業に取り組みます



中山ちどりオンライン会社説明会



「はたらく」を応援

一人ひとりの状況に合わせたサポートができるよう、行政や地域の団体や企業と連携を取りながら、ありたい姿に近づけるよう就労支援を実施しました。

対 象

宝塚市在住で
仕事を探している方

Q 取り組む理由

新型コロナウイルス感染拡大による企業業績悪化で求人数が2割減少。さらに解雇や雇い止めが増え求職者が増加、解雇は9万人を超えます。個人事業主や不安定な派遣労働者の収入減も目立ち、厳しい雇用情勢が続いています。これらの影響により、経済的な困窮や生活に不安を抱える方は増加。それだけではなく、近年ニュースでひきこもりの問題に関する内容を目にするようになりました。社会的孤立も大きな社会課題となっています。これらの社会課題を解決するため、私たちは『はたらく応援センター』を運営しています。就職するために必要な知識を学ぶだけでなく、『はたらく』を応援し、仕事を通じた社会参加や自己実現につながるよう就労支援に取り組んでいます。

目 今年度の成果

新型コロナウイルス感染症の影響で個人事業主や収入が減少した非正規雇用者からの相談が増加しました。それにともない、相談者のニーズがこれまでよりもさらに多様化。そこで、短時間勤務など一人ひとりに合わせた就労支援を実施しました。

また、地域の企業や団体との関係づくりに注力し、地域とのつながりの強化に努めました。その結果、職場見学や体験を受け入れていただける企業や団体が増えました。ただ、一つひとつを見れば、まだまだ継続的なつながりとは言えないものも多くあります。そのため、今後は地域とのつながりをさらに深め、多様な不安や悩みを抱えた相談者の方々が働きやすい地域づくりに取り組んでいきます。【担当：若山】

新型コロナウイルス感染症に関する貸付などの相談
(宝塚市内)

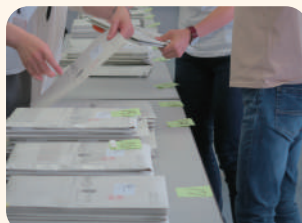
新規 **1,973** 件

数字で見る今年度の成果

累計登録者数 **73** 人

就職決定・増収者数 **45** 人

相談件数 **896** 件のべ



市内回覧用のチラシの仕分け作業を体験中



ポールウォーキングを通して体力づくり

今なら間に合う！卒業直前就活セミナー

卒業を目前にしながらも内定が決まっていない学生を対象にコロナ禍でも就職につながるよう体系的なセミナーを企画しました。

対象

大学四年生
(短大・専門学校等の
卒業年次生含む)

取り組む理由

新型コロナウイルス感染症の影響により就職活動にも変化があり、企業説明会は中止が相次ぎ、オンライン面接の導入など、企業・学生ともに混乱がおきています。コミュニケーションが苦手など、就職活動に苦手意識を持つ学生もあり、就職活動のハードルはさらに高くなっています。就職氷河期の再来とも言われ、卒業が間近ながらも内定が決まっていない学生を対象に『今なら間に合う！卒業直前 就活セミナー』の開催を計画しました。

今年度の成果

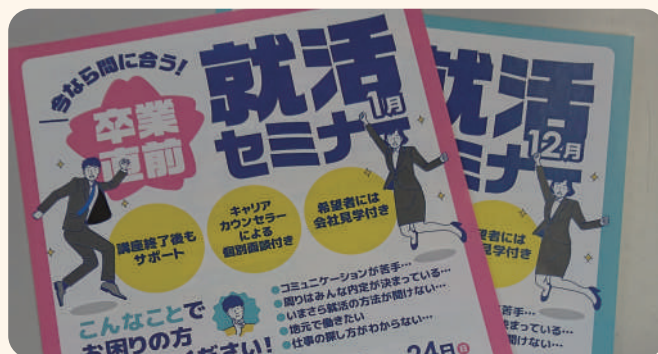
結果は、参加希望者を集めることができず不開催。就職に不安を抱える学生の不安を解消することができませんでした。参加者が集まらなかった要因は、不十分な広報でした。インターネット募集と近隣各大学のキャリアセンターなど就職支援を行う担当課へ主に広報を行いました。学生に直接届くことはありませんでした。良い結果を導くには、十分すぎる検討としっかりした計画の重要性を痛感しました。【担当：若山】

大学生の就職内定率
前年同時期と比較して

2.8 %低下

コロナ禍によって就職
活動に影響が出ている
と感じる大学生

60.4 %



『今なら間に合う！卒業直前 就活セミナー』チラシ

若年者就労サポート事業『いたみ就勝塾』

自分に合った仕事の見つけ方や昨今の就職活動を取り巻く状況などについて、仲間と共に学ぶカリキュラムを実施しました。

対象

伊丹市在住の
15歳～概ね50歳の
若年無業者

取り組む理由

就職氷河期世代への支援が強化される中で起こった新型コロナウイルス感染症による社会活動の低迷。就職活動がさらに困難な状況になった若者が、自分自身を知り、就労意欲を高め社会へ出ていくためには一人ひとりに寄り添った就労支援が必要です。

今年度の成果

三密を避けてのプログラムの実施で、講師はフェイスシールドを装着、グループでの活発な意見交換はできないといった制約もありました。しかし全体に対して個人意見を発表する機会の増加や、Web 面接の体験など今年ならではの体験もすることができました。合同就職面接会では参加企業数が前年より少なかったせいか参加者数も減少傾向ではありましたが、貴重な面接の機会を無駄にしたいくないという熱い思いのこもった面接会となりました。【担当：加藤】

数字で見る今年度の成果

講座開催数

20回

合同会社面接会
ブース訪問者数

44人

講座・面接会
就職決定者数

9人



Web面接体験。画面上で動作の
見え方も確認



マスク・フェイスシールド・飛沫
防止パネル越しの面接

取り残されずに誰もが安心してくらせる地域づくり



今年度の成果

2020年度で14年目になる『ソリオ宝塚自治会』事務局業務と、同じく例年事務局を担ってきた『ソリオ宝塚ふれあい夏祭り』は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小。特に『夏祭り』は中止になりましたが、代わって開催した『ソリオ宝塚地蔵盆』に参画。地域のつながりづくりの一端を担いました。今後も地域の一員として、長年の自治会、地域との関係性を大切に、良い部分を掛け合わせる形でより良い地域づくりにかかわっていきけるよう取り組みます。

シニアの生きがいづくり事業では、『うたごえ広場クレモナ』を定例で開催。緊急事態宣言の影響で中止になった回もありましたが、再開後、参加者の中には見知った顔ぶれもあり、シニアの皆さんの出かける場所として、またゆるやかな顔の見える関係ができる場所として役割を果たしました。『ポールウォーキング講習』や『シニアフェスタ』ではシニアが元気に過ごせる、活躍できる場づくりに取り組みました。【担当：馬越】



シニアフェスタでは出店・参加の両方でシニアパワーがあふれていました



コロナ禍でできることを検討し子どもたちのために開催した地藏盆



うたごえ広場クレモナはシニアの皆さんの定例の出かける場所に

コロナ禍での地域との連携によるボランティア活動



今年度の成果

宝塚地域若者サポートステーションを利用する若者たちは、コロナ禍で人との接触を控えなければいけない状況ではありましたが、就労に向けて活動したいという思いは強く2020年度も就労トレーニングとして地域の様々なボランティア活動に参加しました。宝塚まち遊び委員会主催の『旧松本邸一般公開』、宝塚市文化財団主催の『びっくり箱』など、コロナ禍におけるイベント開催では、若者が消毒や検温の係を任せられ、責任を持って取り組みました。また、宝塚市さすなの家 KaRuTa で開催した『セラドン陶器販売会』での準備、そして接客やチラシ配りを通じて地域の方と触れ合う機会が、彼らの自信につながりました。

はんしん自立の家では、武庫川河川敷で希望の風を揚げる風景をZoomで配信するイベントに若者たちがボランティアとして参加しました。風揚げをするのが初めての若者も地域の方々に教えて頂き、皆さんの楽しんでいる姿が印象的でした。【担当：藤田】



武庫川河川敷での希望の風を高く揚げました！



旧松本邸での受付風景
黙々と作業をしています



『セラドン陶器販売会』たくさんの
お客様でにぎわう店内

2020年度 貸借対照表／活動計算書

2020年度 貸借対照表／活動計算書

2020 年度特定非営利活動に係る事業会計

貸借対照表 簡易版

2021 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

借方		決算額		貸方		決算額	
資産の部	I 流動資産			I 流動負債			
	現金・預金			預り金	450,569		
	現金	301,673					
	郵便貯金	4,430,812					
	普通預金	16,794,875		前受金	155,000		
	定期預金	5,000,000		会費前受金	103,000		
	(現金・貯金合計)		26,527,360	仮受委託金	1,714,529		
	その他の資産			未払金	3,902,933		
	未収入金	11,542,422		未払法人税等	82,000		
	前払費用	1,062,144		未払消費税等	1,918,300		
	(小 計)		12,604,566				
	(流動資産合計)		39,131,926	負債合計			8,326,331
	II 固定資産			正味財産の部			
	有形固定資産			前期繰越正味財産額	30,574,884		
	建物附属設備	851,497		当期正味財産増加額	2,758,648		
	(有形固定資産計)		851,497	正味財産合計	33,333,532		33,333,532
	無形固定資産						
	電話加入権	76,440					
	(無形固定資産計)		76,440				
	投資その他の資産						
	敷金	1,500,000					
	差入保証金	100,000					
	(投資その他の資産計)		1,600,000				
	(固定資産合計)		2,527,937				
	資産合計		41,659,863	負債及び正味財産合計			41,659,863

2020 年度特定非営利活動に係る事業会計

活動計算書 簡易版

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目		当初予算	決算額
I 経常収益			
1. 受取会費		1,000,000	947,000
2. 受取寄付金		1,000,000	2,636,060
3. 受取助成金等		10,189,000	9,753,343
4. 事業収益		56,468,540	56,974,238
5. その他収益		50,000	2,826,509
経常収益計		68,707,540	73,137,150
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費		43,699,215	43,285,660
(2) その他経費		21,479,893	24,976,839
事業費計		65,179,108	68,262,499
2. 管理費			
(1) 人件費		600,000	74,063
(2) その他経費		2,424,000	1,959,940
管理費計		3,024,000	2,034,003
経常費用計		68,203,108	70,296,502
III 経常外収益			
1 雑収益		0	0
経常外収益計		0	0
IV 経常外費用			
1 雑損失		0	0
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増減額		504,432	2,840,648
法人税等		82,000	82,000
当期正味財産増減額		422,432	2,758,648
前期繰越正味財産額		30,574,884	30,574,884
当期正味財産合計		30,997,316	33,333,532

2021年度 活動予算書

2021年度特定非営利活動に係る事業会計	
活動予算書	
2021年4月1日から2022年3月31日まで	
(単位：円)	
科 目	当初予算
I 経常収益	
1. 受取会費	
正会員受取会費	700,000
賛助会員受取会費	300,000
2. 受取寄付金	300,000
3. 受取助成金等	10,500,000
4. 事業収益	68,120,858
5. その他収益	100,000
経常収益計	80,020,858
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	53,242,526
(2) その他経費	22,925,796
事業費計	76,168,322
2. 管理費	
(1) 人件費	520,000
(2) その他経費	2,705,000
管理費計	3,225,000
経常費用計	79,393,322
III 経常外費用	
1 雑損失	0
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	627,536
法人税等	82,000
当期正味財産増減額	545,536
前期繰越正味財産額	33,333,532
当期正味財産合計	33,879,068



2021年度 特定非営利活動に係る事業計画

2021年4月1日～2022年3月31日

1. ツナガリとニギワイをつくる

自分のやりたいことでこれからのまちをつくる人を応援し、楽しみながらその想いを実現できる社会を広げ、みんなのHAPPYを目指します

	事業内容	実施目標
市民活動促進支援事業 (対象：宝塚市民)	市民力のあふれるまちにするために ・特定非営利活動法人の起業・運営相談 ・市民活動団体等のコミュニティビジネス育成等の支援 ・補助金・助成金事業一覧冊子の作成、及び申請支援 誰もが参加できるまちづくりのために ・『宝塚市みんなのまちづくり協議会ポータルサイト』の運営 ・まちづくり協議会の情報発信支援 ・まちづくり協議会の活性化支援 ・広報担当者交流会 ・市民活動団体の実力アップ講座 ・ネットワークづくり交流会	通年 通年 通年 通年 通年 通年 8回 3講座
コミュニティ・ビジネス ICT活用促進事業 (対象：兵庫県民)	コロナ禍でも繋がりを継続・発展するために ・オンライン会議システムを用いたコミュニケーション促進 ・団体の情報発信力強化と活性化 ・ICTサービスの導入活用何でも相談	通年 通年 通年
ひょうごアドプト推進業務 (対象：阪神北地域でアドプトに取り組む団体)	環境を守る市民団体支援 ・アドプト団体活動支援	40団体
生きがいしごと サポートセンター事業 (対象：兵庫県民)	コミュニティビジネスが活発になるために ・団体マッチングによる事業拡大 ・団体設立・起業支援 ・専門家派遣、CB起業・NPO法人化相談、経営相談 ・CB起業・就業支援セミナー 社会の変化に応じた多様な働き方の提案 ・柔軟で多様な働き方推進セミナー ・就労相談・就労インターンシップ実施	20団体 30団体 通年 5講座 4講座 通年
シェアカフェ起業支援事業 (対象：シェアカフェ利用オーナー)	宝塚のにぎわいづくりと起業支援 ・起業し店舗運営するオーナー支援	通年
三田市創業支援事業 (対象：55歳以上の三田市民)	オンラインによるシニアの学びのために ・三田市生涯学習カレッジ研究科創業支援連続セミナー開催	1講座
シニアの生きがい事業 (対象：阪神北地域のシニア)	シニアのコミュニティづくり ・集いの場と学びの場づくり ・ネットワークによる広域活動 ・スマートフォンを用いた交流づくり	14回 12回 8回
ネットワーク事業 (対象：一般市民、市民活動団体)	自治会事務局 地域施設管理支援	通年 通年

2. ハタラクを支える

多様な人のはたらくを応援し社会とのつながりを深めます。それにより、柔軟な働き方ができる地域や活気のある社会を広げ、みんなのHAPPYを目指します

	事業内容	実施目標
地域若者サポート ステーション事業 (対象：地域を問わず就労を 目指す15～49歳)	一人ひとりに寄り添うキャリア支援 ・キャリア相談 2021年度は伊丹市での就労相談に力を入れていきます ・キャリアセミナー開催 ・在学生対象セミナー	通年 就職決定者 100人 5回
	地域とともにキャリア支援 ・地域企業や団体での職場体験 ・地域企業や団体とのネットワーク構築 ・ミニ企業説明会	通年 40団体 6回
	・ITを活用した就労支援	通年
就労準備支援事業及び自立相談 支援事業[就労支援] (対象：宝塚市民)	一人ひとりに寄り添うキャリア支援 ・キャリア相談	通年
	生活と働くことを一緒に考える支援 ・ライフプラン講座 ・地域と連携した農作業体験 ・食品ロス問題を通じた就労支援	2回 12回 3回
	地域とともにキャリア支援 ・地域企業や団体とのネットワーク構築	40団体
	・ITを活用した就労支援	通年

2020年度 支えてくださった皆さん

2020年度 支えてくださった皆さん

法人会員
医療法人 回生会宝塚病院
生活協同組合 コープこうべ
株式会社 てらす

4 団体

個人正会員
井賀 英夫
内田 梓
越知 昌賜
遠座 俊明
橘田 てつ子
喜多 毅
倉橋 滋樹
佐藤 健二
塩谷 惣太郎
田中 茂
鶴丸 悌二
中野 裕行
中山 光子
西井 進剛
林 宏昭
福島 達夫
福岡 則博
細谷 崇
牧里 毎治
三木 さくら
山添 令子
山田 忠生
吉野 茂子
代継 規弘
若山 晴司

27 名

匿名希望2名

団体会員
いきいきシニアゼミナール
愛's さぼーと
えくぼ

36 団体

エスリード宝塚自治会
オフィス・ナウ
キッピーフレンズ
川西もみの木
川西市手をつなぐ育成会
共生苑
国際交流団体未来
コスモス
支援の会ひまわり
市民活動フォーラムみのお
水道施設整備技術協議会
そら
ソリオ宝塚自治会
宝塚園芸福祉協会
宝塚市栄町西自治会
宝塚市社会福祉協議会
宝塚市花のみち自治会
宝塚青年会議所
宝塚つ・む・ぐの家
宝塚投資塾自考庵
宝塚N I S I T A N I
宝塚まち遊び委員会
宅老所 光明の家
ネパール・ヨードを支える会
日高共同作業所
兵庫空き家相談センター
兵庫虹の会
バイカモ楽農会
ヒューマンサポート関西
ほっと宝塚子育てネットワーク
まちづくりの会すけっと
めふのお家
ユーズ宝島

賛助会員

118 名

秋澤 辰弥
井上 芳子
今井 必生
石橋 さなえ
石堂 弥華子
飯室 裕文
和泉 昌三
馬越 康弘
海野 順子
大橋 良子
大谷 友比古
岡部 加奈子
金岡 重子
金谷 信子
上坂 和子
川久保 雄介
川口 章子
菊池 郁夫
木村 佳友
久世 直子
九鬼 麻衣
工藤 圭子
黒木 雅子
車田 清美
河本 美代子
小副川 久代
小林 浩昭
蘆原 聖子
小山 直美
小山 美恵子
直田 春夫
庄野 達也
品川 こころ
澁谷 富子

新福 泰雅
鈴木 祐未
須藤 栄一
妹尾 勇太郎
副島 香織
高野 学
高橋 宏
高橋 由希
高松 泰子
竹内 志津香
竹林 美咲
多胡 葉子
田中 保子
立川 文代
谷川原 宇子
團 泰雄
釣島 平三郎
出澤 淳一
東郷 寛
塔筋 幸造
永井 弘行
仲下 輝美
中嶋 亜起
中西 志津子
仲 清人
西川 由希枝
子延 優子
原 啓
原口 陽子
疋田 智子
藤田 昭
藤田 かおり
藤津 忍
古田 時子

細見 克行
前田 敦司
正木 みつ子
松永 星子
松藤 聖一
松前 幸子
丸谷 典子
三戸 俊徳
三原 伸也
宮脇 瑞穂
村上 昌輝
森田 かつ子
森田 義
森本 樹
山口 一史
山口 耕平
山本 敏晴
横山 知哉
いけはた電器
親子会エルフ
いたみ野良猫をふやさない会みゆうみゆう
きらら
さわやか三田
C. U. P
たんぽぽルーム
中ゴウ社会保険労務士事務所
ハンドクラフターズ
ビッグスタッフ
武庫が丘まちづくりビューロー
友愛こぶし

匿名希望20名

寄付者
30名

今井 必生
大西 和昭
木全 吉彦
小林 浩昭
後藤 桂治
副島 香織
田中 保子
鶴丸 悌二
中山 修
中山 正明
中野 裕行
濱本 佳子
山口 一史
横山 知哉
吉野 茂子
脇 孝之
あたりし
川西もみの木
すこやか女性プロジェクト
宝塚の杜芸術倶楽部
宝塚園芸福祉協会

匿名希望9名

(敬称略・順不同)

クラウドファンディングに
ご協力いただいた皆様 117名

ご寄付について

クラウドファンディング支援額

1,414,000円

23年間の寄付総額

39,347,930円

2020年度の寄付金額

2,636,060円

(2021年3月末時点)

私たちの活動は、皆さまに
支えられています。詳しく
は右側のQRコードか下記
URLをご確認ください。

<http://hnpo.net/support/>



ボランティア

様々な角度や立場からのご意見や一緒に作業をする際の何気ない会話は、私たちに多くの気づきを与えてくれ、また新しい風を吹き込んでくれます。

普段の細かな事務作業から、きずなの家 KaRuTa での接客・清掃、地域のお祭りなどの行事、宝塚 NPO センター主催イベントなどに、若者からシニアまで多くのボランティアの皆さんが関わってくださいました。

私たちにとって、ボランティアの皆さんは欠かすことのできない活動のパートナーです。今後も多くのボランティアの皆さんと共に、人が行き交う市民活動の交差点として活気あふれる宝塚 NPO センターを目指したいと考えています。

多くのサポート、ありがとうございました。

2020年度のボランティア時間

1,838 時間

ボランティア時間を労働時間に換算すると

常勤職員 1 名の 約 1 年分

無償役務を換算すると

1,654,200 円
のご寄付に相当

職員

石堂 弥華子
石橋 さなえ
馬越 康弘
加藤 幹子
九鬼 麻衣
鈴木 祐未
高瀬 梓
竹林 美咲
中嶋 亜起
中野 裕行
仁木 麻美

子延 優子
平岩 伊佐子
福岡 良子
藤田 かおり
古田 香
溝本 直人
村瀬 由美子
山下 智子
山名 真人
若山 晴司

2021 年 3 月末現在 50 音順



役員一覧

理 事 長	中山 光子	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター
副理事長	越知 昌賜	関西国際大学 非常勤講師
副理事長	田中 茂	特定非営利活動法人 シミズシーズ代表理事
理 事	内田 梓	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター
理 事	西井 進剛	兵庫県立大学 経営学部 教授
理 事	福島 達夫	福島労務サポートオフィス
理 事	細谷 崇	CoderDojo 西宮・梅田代表
理 事	山添 令子	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター 会員
理 事	若山 晴司	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター
監 事	遠座 俊明	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所
監 事	中原 さくら	中原会計事務所

2021 年 3 月末現在



認定NPO法人 宝塚NPOセンター 2020年度事業報告書

発 行 日：2021年6月

発行責任者：中山 光子

制 作：馬越 康弘、九鬼 麻衣、竹林 美咲

発 行：認定NPO法人 宝塚NPOセンター

〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

認定NPO法人

宝塚NPOセンター

TAKARAZUKA NPO CENTER

〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL : 0797-85-7766 FAX : 0797-85-7799

Mail : zukanpo@hnpo.net URL : <http://hnpo.net>